

⚠ 警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災、感電、破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
⚠ ⚡
火災 感電
行為を禁止する記号
⊘ 🚫
禁止 分解禁止

⚠ ⚠
危険 火災
下記の注意事項を守らないと
火災・発熱・発火により
死亡や大けがの原因
となります。

火の中に入れない

⊘
禁止

分解しない

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

🚫 🔧
分解禁止

⊘
禁止

肌に合わないと感じたときは、使わない

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。

⊘
禁止

⚠ ⚠ 🔥
警告 火災
下記の注意事項を守らないと
火災・発熱・発火により
やけどや大けがの原因
となります。

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中に、ヘッドホンは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない

歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。また、このヘッドホンは周囲の音を低減するタイプですので、警告音なども聞こえにくくなります。踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

⊘
禁止
🚫 👂

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

⊘
禁止

⚠ ⚠
注意
下記の注意事項を守らないと
けがを したり周辺の 家財
に損害 を与えたりすること
があります。

大音量で長時間続けて聞かすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⊘
禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。接続した機器のボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CD や DAT など、雑音の少ないデジタル機器を聞くとときにはご注意ください。

⊘
禁止

肌に合わないと感じたときは、使わない

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。

⊘
禁止

⚠ ⊘
注意 禁止

- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。
- このヘッドホンは、密閉度を高めていますので、強く押された場合、鼓膜などを痛める危険があります。他の人と強く接触したり、ボールなどが飛んでくるような場所では使用しないでください。
- また、ヘッドホンを耳に押しつけると、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。
- イヤークーピースはしっかり取り付けてください。イヤークーピースがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
乾電池*
アルカリ単3形

* マンガン乾電池のご使用は、持続時間が極端に短いため、おすすめしません。

⚠ 危険

乾電池が液漏れしたとき 乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠ 警告 乾電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解・加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないとときも取りはずす。

⚠ 注意 乾電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

SONY

ノイズキャンセリングヘッドホン

MDR-NC300D

©2009 Sony Corporation Printed in Malaysia

主な特長

- 独自開発、DNC ソフトウェアエンジンを搭載した、デジタルノイズキャンセリングヘッドホン 高精度なキャンセル信号生成により、約98.4%*1の卓越した騒音低減を実現
- フルオート AI ノイズキャンセリング機能搭載 周囲の騒音を常に分析し、最適なノイズキャンセリングモードを自動選択

- デジタルサウンドエンハンサーおよびフルデジタルアンプ S-Masterにより、理想的な周波数特性を実現、高音質での音楽再生が可能
- 大口径 16mm ダイナミック型ドライバーユニット採用により、広帯域再生、広いダイナミックレンジを実現
- 密閉型パーティカル・イン・ザ・イヤークーピー方式採用により、耳への負担が少なく快適で安定した装着性を実現
- 耳の大きさにあわせて選べる、7種類のハイブリッドイヤークーピー付属
- 3つのサウンドモード (NORMAL/BASS/MOVIE)を搭載。視聴ソース、環境に合わせてお好みで選択可能
- 周囲の音が聴き取れるモニター機能搭載
- 手元で音量を簡単操作できる便利なボリュームコントロール付き

主な仕様

一般仕様	
形式：	密閉ダイナミック型
装着方式：	パーティカル・イン・ザ・イヤークーピー方式
ドライバーユニット：	16 mm、ドーム型(CCAW 採用)
最大入力：	100 mW
インピーダンス：	16 Ω (1 kHzにて)
感度：	103 dB/mW
再生周波数帯域：	6～24,000 Hz
総騒音抑制量 (TNSR)*2：	約 18 dB*1
コード：	約 1.2 m OFC リッツ線
プラグ：	金メッキステレオミニプラグ
電源：	DC 1.5 V (単3形乾電池× 1)
質量：	ヘッドホン部：約 8 g (コード含まず) コントロールボックス部：約 53 g (コード含まず、電池含む)

付属品	
延長コード (金メッキステレオミニプラグ 1 m) (1)	
コード長アジャスター (1) クリップ (1)	
航空機用プラグアダプター (1) *3	
キャリングケース (1)	
キャリングポーチ (1)	
イヤークーピー (SS/S/MS/M/ML/L/L各 2)	
単3形アルカリ乾電池 (1)	
取扱説明書 (1)	
プロダクトインフォメーション (1)	
保証書 (1)	
ソニーご相談窓口のご案内 (1)	

*1 当社規定の航空機シミュレートノイズ下における、ノイズキャンセリングモード A 時と、ヘッドホンの非装着時との比較による値です。総騒音抑制量 約 18 dB は音のエネルギーで約 98.4 % の騒音低減に相当します。

*2 当社測定法による。モード毎の総騒音抑制量については別冊のプロダクトインフォメーションをご覧ください。

*3 機内の音楽サービスによっては、対応ができない場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
“ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN” ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

⚠ ⚠
危険 火災
下記の注意事項を守らないと
火災・発熱・発火により
死亡や大けがの原因
となります。

製品登録のおすすめ
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。
パソコンから
http://www.sony.co.jp/avp-regi/
📱 📱
携帯電話から
2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。
http://reg.msc.m.sony.jp/avp/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは <http://www.sony.co.jp/support> ホームページをご活用ください。

使い方相談窓口	
フリーダイヤル……………	0120-333-020
携帯電話・PHS…一部のIP電話…	0466-31-2511
修理相談窓口	
フリーダイヤル……………	0120-222-330
携帯電話・PHS…一部のIP電話…	0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	

FAX (共通) 0120-333-389



お買い上げいただきありがとうございます。
⚠ **警告**
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みの方え、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではヘッドホンの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

使い方相談窓口	
フリーダイヤル……………	0120-333-020
携帯電話・PHS…一部のIP電話…	0466-31-2511
修理相談窓口	
フリーダイヤル……………	0120-222-330
携帯電話・PHS…一部のIP電話…	0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	

📱 📱	
携帯電話から	
2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。	
http://reg.msc.m.sony.jp/avp/	

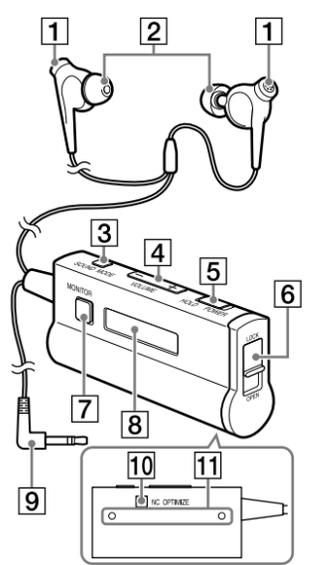
製品登録のおすすめ	
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。	
パソコンから	
http://www.sony.co.jp/avp-regi/	
📱 📱	
携帯電話から	
2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。	
http://reg.msc.m.sony.jp/avp/	

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは <http://www.sony.co.jp/support> ホームページをご活用ください。

使い方相談窓口	
フリーダイヤル……………	0120-333-020
携帯電話・PHS…一部のIP電話…	0466-31-2511
修理相談窓口	
フリーダイヤル……………	0120-222-330
携帯電話・PHS…一部のIP電話…	0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	

FAX (共通) 0120-333-389

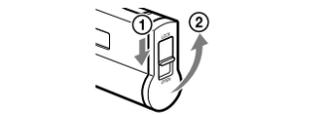
各部のなまえと働き



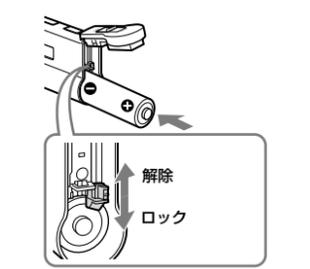
- マイク部**
- イヤークリップ**
- SOUND MODE ボタン** サウンドモードを NORMAL、BASS、MOVIE に切り換えることができます。
- VOLUME(+/-) ボタン** 本機の音量を調節します。+側に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
- HOLD/POWER スイッチ**
- 電池ふた**
- MONITOR ボタン** 周囲の音を聞くことができます。
- 液晶画面** 本機の状態を表示します。
- 金メッキ型ステレオミニプラグ**
- NC OPTIMIZE ボタン** ノイズキャンセリングの効果を、調整することができます。
- クリップホル** 付属のクリップを取り付けます。

電池を入れる

- 電池ふたのロックをはずし、電池ふたを開ける。

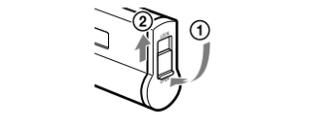


- 単3形乾電池を ⊖ 側から入れる。内部のストッパーが電池を押さえるまで入れてください。



- ご注意** 乾電池の＋と－を逆に入れると、発熱や故障の原因になる恐れがあります。乾電池は正しい向きに入れてください。

- 電池ふたを閉じて、電池ふたのロックをかける。



乾電池の持続時間

乾電池の種類	持続時間*1
ソニー単3形アルカリ乾電池 LR6/AM3	約 20 時間*2

*1 1 kHz、0.1 mW+0.1 mW 出力時

*2 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

電池交換の目安

乾電池が消耗してくると電池残量表示が変わり、残量がなくなると電源が切れます。

電池残量表示を目安に乾電池の交換をしてください。

ご注意
長い間乾電池を使用しない場合は取り出しておいてください。

電池を交換するときは

電池ふたを開け、内部のストッパーをスライドさせてから、電池を取りはずしてください。

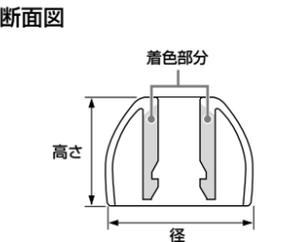
イヤークリップの正しい装着方法

イヤークリップが耳にフィットしていないと、適切なノイズキャンセリング効果が得られない場合があります。快適なノイズキャンセリング効果と、より良い音質を楽しんでいただくためには、イヤークリップのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。

お買い上げ時には、M サイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のイヤークリップの中から、最適なものを選んで交換してください。イヤークリップのサイズは、イヤークリップ内側の色で確認してください。イヤークリップがはずれて耳に残らないよう、イヤークリップを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。

イヤークリップのサイズ (内側の色)

	小さい ← 径 → 大きい		
高い	–	ML (青)	LL (紫)
高さ	S (橙)	M (緑)	L (水色)
	低い	SS (赤)	MS (黄)



イヤークリップをはずすときは

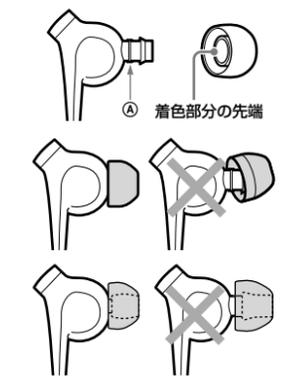
ヘッドホンを片手で押さえ、もう一方の手でイヤークリップを軸ごとねじりながらはずします。



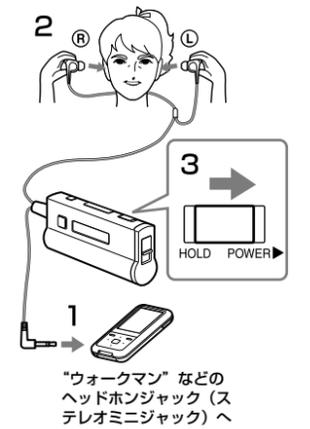
- ごヒント** イヤークリップが滑りやすくはすしにくいときは、乾いた柔らかい布でくるむとはすしやすくなります。

イヤークリップをつけるときは

イヤークリップの着色部分の先端が、ヘッドホンの突起部分にある ㊶ の位置にくるまで押し込んでください。



音楽を聞く



- 聞きたい AV 機器を接続する。
- ヘッドホンをつける。
 - ㊶ の印のついた方を右耳に、㊵ (左右識別用の突起があります。) の印のついた方を左耳に付けてください。イヤークリップは耳の穴を密閉するように、差し込んでください。
- HOLD/POWER スイッチを POWER 側へスライドさせる。液晶画面に **DIGITAL NC** と表示され、ヘッドホンから「ピッ」という音が聞こえます。

- 接続した AV 機器を再生する。
- 音量を調節する
VOLUME (+/-) ボタンを押すとゲージが表示されます。お好みの音量に調節してください。
ご注意
接続した機器の音量調節はできません。
• VOLUME を最小にしても再生音は完全には消えません。

フルオート AI ノイズキャンセリングについて

フルオート AI ノイズキャンセリングはノイズキャンセリングモードを自動的に選択する便利な機能です。本機の電源が入ると周囲の環境音を常に解析し、環境音の変化に追従しながらその場に最も効果的なノイズキャンセリングモードへ自動的に移行します。

ノイズキャンセリングモードの種類

画面表示

現在設定されているノイズキャンセリングモードが表示されます。

NC モード A (NC A) :

中低域の音を多く含む騒音に適しています。主に航空機内の騒音に効果的です。
NC モード B (NC B) : 超低域の音を多く含む騒音に適しています。主にバス・電車の騒音に効果的です。
NC モード C (NC C) : 比較的静かで広い帯域の騒音に適しています。主にオフィス・OA 機器などの騒音に効果的です。

ごヒント

騒音の性質は、時を追って変化していきます。本機は、その場の騒音に最適なノイズキャンセリングモードを自動的に選択します。

サウンドモードを選ぶ

画面表示

現在設定されているサウンドモードが表示されます。

- SOUND MODE ボタンを押す。サウンドモードが NORMAL → BASS → MOVIE の順で切り換わります。
NORMAL : (画面表示なし) 高音質なヘッドホン再生をお楽しみいただけます。

BASS : 重低音の効いた迫力のあるサウンドをお楽しみいただけます。

MOVIE : 騒音下で、ダイナミックレンジの大きな AV ソースを視聴するのに最適です。

- ごヒント** MOVIE では、本機のボリュームが 16 付近のときに最も効果を得られるよう調整されています。

ノイズキャンセリング量を調整する –ノイズキャンセリング調整機能–

本機は、ノイズキャンセリングの効果が最も得られるようにあらかじめ設定されていますが、耳の形状や使用環境によって、効果が得にくい場合があります。ノイズキャンセリングの効果が得にくいと感じるときは、ノイズキャンセリング調整機能を使って調整してください。

- NC OPTIMIZE ボタンを押す。液晶画面にゲージが表示され、再生中の音声は消音されます。

- VOLUME(+/-) ボタンを押して、調整する。21 段階の値で調節できます。ご自分で最もノイズキャンセリング効果が得られると感じられる位置に調整してください。

- 調整が終わったら NC OPTIMIZE ボタンを押す。

- ごヒント**
 - ノイズキャンセリング調整機能で行った調整値は、3つのノイズキャンセリングモードすべてに反映されます。
 - ノイズキャンセリング調整機能で設定した値は電源を OFF にしても記憶されています。

ご注意
調整値の大小がノイズキャンセリング効果の大小を表しているわけではではありません。

周囲の音を注意して聞きたいときは

電源を「ON」にしているときに MONITOR ボタンを押すと、再生音が聞こえなくなり、外部の音を聞くことができます。MONITOR を終了するときは、もう一度 MONITOR ボタンを押してください。

誤操作を防ぐ –ホールド機能–

HOLD/POWER スイッチを HOLD 側に動かすと、画面に「HOLD」が点灯し、すべてのボタン操作ができなくなります。不用意に電源が入るなどの誤操作を防ぐことができます。HOLD を解除するときは HOLD/POWER スイッチを POWER 側に動かしてください。

出荷時の状態に戻す

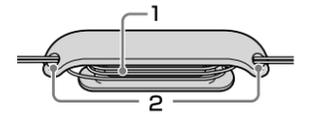
本機に記憶されている設定値などを出荷時の状態に戻すことができます。

- 電源が切れている状態で、NC OPTIMIZE ボタンを押しながら電源を入れる。

- 画面に「ALL RESET」と表示されたら NC OPTIMIZE ボタンを離す。

コード長アジャスターの使いかた

図のようにコードを巻きつけて長さを調節できます。(巻きつける長さは 40 cm までを目安に調節してください。それ以上巻きつけるとコードがはずれやすくなります。)



- コードを巻きつける。
- みぞに差し込んで固定する。

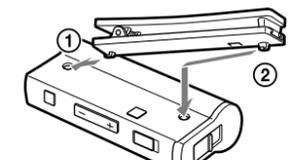
ご注意
プラグやコード分岐部分を巻きつけないようにしてください。負担がかかりやすく断線につながる恐れがあります。

クリップの使いかた

付属のクリップをコントロールボックス部に取り付けることで、服やかばんにコントロールボックス部を固定することができます。

クリップをコントロールボックス部に取り付ける

- コントロールボックス部の背面にある穴へクリップの凸部を片方ずつ入れる。



- ごヒント** クリップはどちらの向きでも取り付けることができます。

- クリップの内側にあるレバーを外側へ引く。コントロールボックス部にクリップが固定されます。



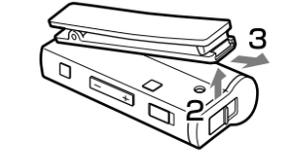
クリップをコントロールボックス部からはずす

- クリップの内側にあるレバーを内側へ押す。クリップのロックがはずれます。



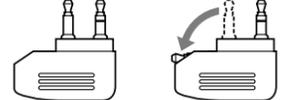
- クリップのレバー側を約 2 mm、上に軽く持ち上げる。

- クリップを矢印の方向へ引き抜く。



航空機内で使用するときのご注意

- 付属のプラグアダプターは、航空機のデュアルジャックまたはステレオミニジャックに接続することができます。



デュアルジャック ステレオミニジャック

- 航空機内で電子機器の使用が禁止されている場合や、機内の音楽サービスを個人のヘッドホンで利用することが禁止されている場合は、本機を使用しないでください。
- 本機を使用しないときはヘッドホンを取っ払ってください。

故障とお考えになる前に

- 音が出ない。**
 - 本機の電源を入れる。
 - 本機の乾電池の残量を確認する。
 - 本機と AV 機器との接続を確認する。
 - 本機に接続した AV 機器の電源が入っているか確認する。
 - 接続した AV 機器の音量を上げる。

音がひずむ。

- 接続した AV 機器の音量を下げる。
- 新しい乾電池と交換する。

電源が入らない。

- 新しい乾電池と交換する。

操作できない。

- 本機の電源を切ってから電池を取りはずし、再び電池を入れ、電源を入れる。

接続しているラジオ、TVなどが受信できない、またはノイズが入る。

- 接続している機器と本機のコントロールボックス部を離す。

使用上のご注意

本機は、ノイズキャンセリング機能を搭載したヘッドホンです。

ノイズキャンセリング機能とは

外部の環境ノイズ（乗り物内の騒音や室内の空調音など）と逆位相の音を出すことで環境ノイズが低減して聞こえる機能です。

- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じられる場合があります。
- ヘッドホンのマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング効果が得られなくなる場合があります。
- ヘッドホンのつけかたによっては、ノイズキャンセリング効果が減少することがあります。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対してもっとも効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- 携帯電話の影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話から本機を離してください。
- ラジオなどを聞いているときにノイズが入る場合は、接続している機器と本機のコントロールボックス部を離してご使用ください。

取り扱い上のご注意

- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただくために、プラグを時々柔らかい布でからぶかし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音かとぎれたりすることがあります。
- イヤークリップのお手入れは、ヘッドホンからイヤークリップをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。
- イヤークリップは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じるがありますが、ヘッドホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気が発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより軽減されます。

イヤークリップは消耗品です。紛失・破損した場合は、お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談下さい。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

万一異常や不具合が起きたときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。